

ONE BRAND

◆ **ONE LOVE** INTERVIEW

宮本笑里

vol. **37**

犬が喜ぶ！
コミュニケーションの新発想。

犬を鍛える！

Let's try!



犬が喜ぶ!しつけの新発想。

犬を鍛える!

Let's try!



飼い主に可愛がられることと同じくらい、犬は体を動かすことが大好き!

でも今、太り過ぎのメタボ犬や、運動不足でひ弱な犬が増えているそう。

太り過ぎは病気になるやすく、ひ弱な体はケガのもと。

そこで、今回の特集は『犬を鍛える!』

鍛えることで体が丈夫になり、健康で長生きにつながるなら、

犬も人も、こんなに嬉しいことはありません。

思いっきり走って、思いっきり遊んで、犬の体を鍛えましょう。

あなたの愛犬だって、大丈夫。だって、犬ですから!

撮影：晴山順平

能力を自然に引き出す ムリのないトレーニング

ジャンプバー、リング、フラッグなどの障害物が並ぶ芝生の上を、スタートとの合図とともに一頭のジャック・ラッセル・テリアが駆け抜けていく。犬の名前はソフィ。矢のように疾走し、軽やかにジャンプし、高い身体能力を存分に発揮してあっという間にゴール。しなやかな筋肉を躍動させて走る姿は俊敏で力強い。さぞや特別なトレーニングメニューをこなす特別な犬なのだろうと思っていると、飼い主の石崎さんからは意外な言葉が。

「もともと犬が持っている能力を引き出しているだけなので、どんな犬もトレーニングすればできるようになります。遊びのなかで体力を養ったり、毎日の小さな積み重ねなんですよ」

トレーニング風景は決して緊張したものではありません。石崎さんがソフィに話しかける明るい声がグラウンドに響く。ほめられて嬉しそうなソフィ。真っ黒な目がキラキラと輝いて、今すぐ走り出したくてたまらないというように。

「話しかけることはとても大切。たくさん話しかけて、どうすればほめられるのか頭を使って考えさせます。失敗しても怒鳴りつけたりはしません。まず、できるようなることが大事ですから、ひとつできたものすごくほめる。この繰り返しです。犬に楽しい記憶として覚えさせるんですね」

印象的なのはトレーニング時間の短さ。犬を飽きさせないよう、決して長い時間はやらないのだとか。

速く正確に。走る! 跳ぶ! 華麗なるドッグスポーツの世界

犬と人が一緒に楽しめるドッグスポーツ・エクストリームのチャンピオン犬と、飼い主である石崎さんのトレーニング風景を取材。練習方法や体力作りのヒントを伺いました。



ジャンプしてリングをくぐり抜ける障害物。ギリギリの高さでジャンプし、最短の距離を素早く滑らかに跳んでいくソフィ



一直線に並んだフラッグというバーを交互にすり抜ける障害物。難関とされる障害物も、俊敏で正確なステップでこなしていく



上手にできると嬉しいおやつのご褒美が。たっぷりほめて、体を撫で、犬のやる気をコントロールする飼い主の手腕も問われる

エクストリーム・チャンピオンシップ競技

エクストリームとは、飼い主と愛犬と一緒に楽しむことを前提とした日本発のドッグスポーツ。障害物をクリアしてゴールするまでのタイムや、バーを跳んでジャンプの高さを競うなど、競技の内容は全部で6種類。全国5カ所で行われる地区大会の後、毎年秋には全国決勝大会が開催される。体験会や練習会など、初心者向けのイベントも随時開催中。

<http://www.wanwan.org/ex/index.html>



石崎泰範さん（いしざきやすのり）●エクストリームにて多くの優勝回数を誇り、決勝大会では上位の常連。ジャック・ラッセル・テリア・クラブ・オブ・ジャパン（JRTCJ）現会長

ソフィに続き、同じジャック・ラッセル・テリアのイブが登場。なんと15歳というから、驚きました。「基礎体力があがると病気になるににくく、ケガもしくいので健康にいいんです。イブはまだまだに現役で大会に出ているくらい。ケガにはすごく気を遣っています。イブが楽しめるうちはやらせてあげたいと思います。さすがにトレーニングはほどほどに。でも練習より本番のほうがやる気が出るタイプなので大会は楽しそうです（笑）」

鍛えることで健康に！ 15歳のイブも現役

「犬がもっとやりたいと思うところで終了します。長く続けても集中力が続かないし、ケガにつながるので絶対にムリはさせません。万一の事故が起こるリスクを最初から回避しておくんです。競技のトレーニングのほかには、体力作りにfrisbeeを取り入れています。我が家では子犬のころから小さなfrisbeeを転がして遊ばせています。遊びながら注意力や瞬発力が養われていくのでおすすめですよ」

石崎さんが筋力のトレーニングと体力作りに取り入っているのがfrisbeeのキャッチ。瞬発力、注意力、左右への動きに必要な筋力などが養われるという



for example,

Athlete Dog

犬種や性別、年齢に関係なく参加できる
ドッグスポーツであるエクストリームで活躍する犬たち。
キリリと引き締まった表情と、
走ることに慣れた全身バネのような肉体が印象的



ソフィ（7歳メス・ジャックラッセルテリア）。エクストリーム・ミニチュア総合で5度のチャンピオンに輝く

犬が喜ぶ！しつけの新発想。
犬を鍛える！
Let's try!



体毛がすっかり白くなったシニア犬のイブ（15歳）も自分のペースで障害物をクリア。ゴール後の生き生きとした嬉しそうな顔！

プロが育ててる凛々しき犬たち。警察犬

使役犬育成のプロによって最も高度に訓練された犬、警察犬。訓練の様や犬の鍛え方をご紹介します。犬への接し方など、家庭犬をしつける際のヒントもいっぱい。



服従訓練。人の早さに合わせて歩くなど、指示通りの行動を徹底的に覚えさせる



臭気選別。複数の布のなかから、指示されたものと同じにおいの布を選別する



警戒訓練の襲撃。逃走した犯人や武器を持って向かってくる犯人に対して襲撃する

ほめて、叱って、意欲をかき立てる訓練内容

引き締まった肉体を持ち、しっかりと大地を踏みしめる堂々たる佇まい。迫力のあるジャンプとしなやかな身のこなし。訓練士の指示にキビキビと徹底的に従う姿を目の前になると、やんちゃな子犬時代なんて想像しにくいほど。それでも、警察犬の多くは生後5、6ヶ月のころから訓練をスタートさせるのだという。

「最初は、ひたすらほめて、ほめて、楽しい気持ち覚えさせていく。基本はほめることなんです。まずは服従訓練でしつけ、段階が進んでいく途中経過では、失敗したらきつくり叱ります。ズルをしたら修正しなくてははいけませんし、やはり仕事のための訓練ですから。信頼関係がしっかりと築けていれば、犬が反抗してくるようなことはありません。犬も叱られる理由を分かっています。犬も飽きさせないようには作ります。それでも飽きさせないように作業意欲をかき立てながら、訓練に興味を持たせ、犬が楽しめるように工夫して訓練することが必要です」

コミュニケーションのある運動で体力をつける

基本の服従訓練から始まって、嗅覚

を生かした訓練など徐々に難しくなっていく。それぞれの犬の特徴や正確を見極めて、犬の適正に合った訓練を進めていくのだとか。

「性格や能力はもちろん、それぞれの犬の体調やその日の集中力、犬の状態をみて訓練の内容も変わります。訓練が終われば、ボール投げや、相撲ごっこみたいなことをしたり、人間も体を使って一緒に遊びながら運動する時間を作っています。人間とのコミュニケーションのない運動はストレスになってしまいますから、犬と一緒に、人も体を動かして運動することが、コミュニケーションがはかれていいんです。たとえば長い距離を散歩するなら、犬に話しかけながらゆつくりブラブラ歩くとか。人とのコミュニケーションが犬にとっては何より嬉しいことですからね。人間の子供も、親と相撲して遊ぶのがきつと好きでしょう。それと同じ感覚だと思います」

また、訓練と同じくらい大事なのが犬の体調管理。訓練所ではドッグフードにおからを混ぜたものを毎日の食事に与えているそう。

「太ると集中力がなくなるし、体が重たくなる分、犬の負担になります。太ってしまうことで、集中力と持久力のふたつに影響が出てしまうんです」



犬が喜ぶ!しつけの新発想。
犬を鍛える!
Let's try!

ラピス (ジャーマンシェパード・メス3歳)。引き締まった体格が精悍そのもの。光沢のある毛並みも美しい



池上裕二さん (いけがみゆうじ)
●優秀な犬の訓練士として活躍。指導した犬と事件の現場に駆けつけることも。東日本大震災をはじめ災害時には犬とともに被災地に入り、救助を行っている

for example,

Police Dog

鋭い嗅覚や優れた服従習性を生かして犯罪捜査に活躍。
警備の現場や、犯人の追跡・捜索、
証拠品の収集、犯人に立ち向かうことも



**POLICE
DOG**

愛犬と一緒に走ってみませんか？

エクストリームのトレーニングに参加されていた飼い主さんたちにインタビュー！犬と一緒に運動することで、楽しいこと、面白いこと、いっぱいあるみたいです。



犬が走り、人も走る。常に声をかけ、成功したときは思いっきりほめて、体を触る。エクストリームのトレーニング風景は、人と犬が一緒になって運動をする一体感が満ちていました。飼い主の誘導方法なども障害物のクリアに大きく関わることから、初心者の飼い主さんの場合、まさに犬と一緒に成長していくといった様子。

「今までできなかったことができるようになる」と、犬も嬉しいんだと思います。もちろん僕も嬉しいし、犬の喜んでいく姿を見るのが楽しいです！

と話すのは、5頭のジャック・ラッセル・テリアとトレーニングに参加していた清水実さん。清水さんは全国大会にも出場するほどの上級者です。

トレーニングを始めてわずか3ヶ月という中川さん夫妻は、「3頭の愛犬たちの様子が穏やかになった」と話す。

「我が家では3頭の犬同士の順位付けの喧嘩が絶えず、悩みの種でした。でも、トレーニングに参加するようになってから家での様子が落ち着いてきたんです。ストレスが減ったのかな」

ドッグスポーツは、見ている側も楽しいと話してくれたのは坂本さん。「犬の生き生きとした顔を見るのが好きです。飼い主と犬が一緒になって頑張っている姿がいいなあって、自分もやってみたくなって始めました」

決勝大会に向けて頑張っています！

初心者なりにのんびり楽しく♪

憧れのドッグスポーツに挑戦！

犬が喜ぶ！しつけの新発想。
犬を鍛える!
Let's try!



坂本洋子さんと愛犬の姪奈ちゃん (ミニチュア・ピンシャー)

中川昇三さん & 恭子さん夫妻と愛犬のファル (Mix)、セサミ、ひな (イタリアン・グレーハウンド)

清水実さんと愛犬のシュテルン、エルデ、ネーベル、ミルヒ、モテーナ (ジャック・ラッセル・テリア)



家庭犬のしつけも請け負っている警察犬の訓練士さんに、肥満や運動不足でお困りの飼い主さんへ、アドバイスをいただきました。

「運動させることはもちろん大事ですが、運動のための運動は犬のためによくありません。家の中で過ごすことが多い犬であれば、運動がストレスになってしまう場合があります。ボール投げなど、体への負担が少ない遊びで定期的に運動させるのがいいと思います。とはいえ、運動よりもまずコミュニケーションが先ということをお忘れなさい。飼い主さんも犬も、無理することはないんですよ。体調はもちろん、腰や膝への負担にならないよう、犬の状態をよく知って、その犬に合わせた遊び方をしましょう。肥満気味の犬には、食事で体重をコントロールするのがおススメ。一回の量を少なく、回数を増やして食事を与えてみるなどしてみてください」

**肥満&ひ弱な愛犬へ
プロからのアドバイス!**

ONE LOVEプロジェクトは

犬の殺処分をなくし、 人と犬との明るい未来をつくる プロジェクトです



人と犬がもっと豊かに暮らせる社会をめざしている
ONE BRANDでは、1頭でも多くの犬の命を救うために、
2008年より動物保護団体への寄付、情報発信による啓発、
保護犬の譲渡支援を行なう「ONE LOVEプロジェクト」を
実施しています。ONE LOVEプロジェクトは、
「できることから始めよう!」をモットーに、
犬を愛するみなさんに参加いただくことで、
幸せな犬たちを増やしています。



87,119

頭

保健所に收容される
犬の数

(平成 22年環境省発表)

【收容される理由】

- 捨てられた犬や迷子犬を保護
- 無責任な飼い主の飼育放棄による持ち込み
- 動物取扱業者による持ち込み

61

%

殺処分される
犬のパーセントと数

- 元の飼い主のもとに戻れなかった犬
- 動物保護団体にレスキューされなかった犬
- 新しい飼い主に譲渡されなかった犬

53,268

頭



殺処分される犬を減らすためには、
保健所に收容された犬を引き取り新しい飼い主を探している、
動物保護団体を支援していくこと。
そして、「犬を飼おう」と考えた時に
「保護犬」を選択する人を増やすために、認知を広める必要があります。

今すぐ、できることから始めませんか？

今すぐ参加できる寄付・啓発・支援



- ONE LOVEサポーター会費
- ONE LOVEグッズの売上
- 協賛企業・賛同者からの寄付金から毎月、動物保護団体に寄付しています。



ONE LOVEプロジェクト事務局



動物保護団体
12団体
(2012年12月現在)



ONE LOVE
プロジェクト
啓発活動費

ONE LOVE プロジェクトでは、一定の審査を行なった信頼のおける動物保護団体に、長期にわたり定期的に行える寄付支援をしています。

誰でもできる 月1,000円からのサポート

～ ONE LOVEサポーター～

保護犬をレスキューする動物保護団体への寄付や、犬たちが置かれた現状をより多くの方々へ啓発していく活動を支援して下さる「ONE LOVEサポーター」を募集しています。あなたもできることから始めませんか？

●サポーターには・・・

- ①『ONE BRAND』マガジンを奇数月にお届け
- ②サポーター会報誌を偶数月にお届け
- ③ONE LOVE会員カードの発行
- ④ONE LOVEメールマガジン配信



ONE LOVEサポーターへのお申し込み、お問合せ

<http://www.onelove.cc>

☎03-5575-2363

※サポーター会費は1,000円から金額を選べます。
※現会員も金額の変更ができます。



携帯はこちら

お買い物でも サポートできます！

ONE BRAND Shopping (WEB) 内の全ての商品は、売上の一部が動物保護団体への寄付になります。

1頭でも多くの犬たちを救うために、楽しいショッピングは、ぜひONE BRAND Shoppingで！



迷子札

<http://www.obshopping.jp/>

☎03-5575-2363 10:00～17:00(土日、祝日を除く)



携帯はこちら

ONE LOVEプロジェクト 寄付先団体 (50音順)

※2012年12月末
現在

- NPO法人 ARK (アニマルレフュージ関西)
<http://www.arkbark.net/>
- 石川ドッグレスキュー
<http://dogrescuejp.net/>
- NPO法人 しっぽのなかま
<http://shippononakama.kuronowish.com/>
- ちばわん
<http://animal-note.cool.ne.jp/>
- 動物いのちの会いわて
<http://www.inochinokai.com/>
- Dog Shelter (ドッグシェルター)
<http://dogshelter.jp/>
- NPO法人 日本動物生命尊重の会
<http://www.npo-alis.org/>
- Happy Labs (ハッピーラブズ)
<http://www.happylabs.jp/>
- PAK (Paws Adoption かながわ)
保健所の犬・猫を救う会
<http://homepage3.nifty.com/nazozen/>
- NPO法人 ペット里親会
<http://petsatooyakai.web.fc2.com/>
- NPO法人 保健所の成犬・猫の譲渡を推進する会
<http://npo.seiken-joto.org/>
- NPO法人 Wonderful Dogs
<http://www.wonderful-dogs.com/>

4,653,518円

(2012年1月～11月)

これまでの寄付金総額

27,049,937円

(2008年4月22日～2012年11月末現在の累計)

寄付金の詳細については、ONE LOVEサイト内「寄付金の報告 donations report」をご覧ください。

<http://www.onelove.cc/>

ONE BRAND vol. **37**